

令和2年度 第1学年 後期授業アンケート結果 分析表

国語総合 (現代文)	授業への取り組みは良好である。興味関心をより一層高めるため、関連する様々な文章やさらにレベルアップした文章を扱う機会を増やしていく。また、グループ又はペアワークの効果を実感する生徒も多く、互いに学びあう姿勢を今後も大切にしたい。
国語総合 (古典)	扱う文章のレベルは上がっているが、授業の難易度を適切だと思ふ生徒が前期より増加しているのは、読解力がついてきたからだと思えている。定期考査以外で実施する到達確認テストも効果が上がっている。グループ又はペアワークや調べ学習での手応えを感じている生徒は多く、引き続き取り組んでいきたい。
現代社会	多くの生徒が授業に集中して取り組んでおり、授業の難易度もちょうど良いと回答している。また、学習に対する意欲が高い生徒も多い。今後とも、生徒たちの実生活に振り返る機会を与えられるような深い学びとなる授業展開を行ってきたい。
数学 I	全体的に肯定的に回答している生徒が多いが、内容が難しくなってきたことから、前期と比較してやや後ろ向きの回答をしている生徒が増えてきている。基本的事項をしっかりと理解・習得させる工夫をより徹底して行い、生徒の実態に応じて発展的な内容にも取り組ませていきたい。
数学 A	全体的に肯定的に回答している生徒が多く、前向きに学習していると思われる。後期は平面幾何の証明などが入っているため、苦手な生徒が多いと思われることから、内容理解に不安を感じている生徒が増えた。数学 I などと融合させて考察させることで、より理解を深めさせていきたい。
物理基礎	例年よりも肯定的に答えている生徒が多く、生徒が高い意欲を持っていることが示唆される。授業の難易度については、ほとんどの生徒が、ちょうど良い～やや難しいと答えている。意欲が高い集団なので、時には高いレベルの題材も扱いつつ、生徒の深い学びを提供していきたい。
化学基礎	後期になり、学習内容がより難しく広範囲になってきたにもかかわらず、生徒たちの授業に対する取り組みは集中力が増している。科目に対する興味関心とともに、生徒自身の考察力が高まるような授業を今後も心掛けたい。
保健体育	後期の12月より選択制授業を導入し、グループ学習等の場面を設定している。それにより、班員との協力及び学習意欲の向上に繋がっている。技能・体力の向上を含めた基礎基本の習得とともにルールを学習しながら、2年生からのより主体的な学びへと繋げていきたい。
音楽 I	多くの生徒が集中して取り組んでいる。後期は三味線、篠笛、トーンチャイム合奏、リコーダーアンサンブル等、初めて演奏する楽器に多く取り組んだ。芸術研究講演会からオペラ鑑賞へと繋げ、様々な音楽への興味・関心が高まったという生徒が増加した。ペアやグループでの教え合い活動等を取り入れ、深い内容理解へと繋げたい。
美術 I	前期と比較するとほぼ同じ結果である。多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。特に「授業の難易度」「授業の進度」「先生の説明はポイントが的確でわかりやすいですか」について、生徒はちょうどよい(大体わかりやすい)と回答している。今後も適切なアドバイスや指導で授業を展開していきたい。
書道 I	多くの生徒が授業に集中して取り組んでおり、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習は前期に比して取り入れた分、学習意欲の高まりが見られた。生徒たちの意欲がより増し、芸術的な思考が活性化できる内容を今後も展開していきたい。
コミュニケーション英語 I	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に英語学習に取り組む生徒が増えている。予習・復習の習慣化を更に促し、コロナ対策を実施しながら、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
英語表現 I	多くの生徒が集中して取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。予習・復習を促しながら、ソーシャルディスタンスに考慮した効果的な活動を更に検討し、発展的な内容に取り組んでいきたい。
家庭基礎	多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。本校の生徒は比較的生活環境に恵まれており、自分の日常生活についてあまり意識せずに過ごす傾向があるため、生活に関わる知識・技術は身につけていないと感じる。今後の授業を通して基礎的・基本的な知識・技術を習得し、様々な課題の解決に向けて的確な判断力が育成できるような授業を展開したい。
情報の科学	多くの生徒が集中して取り組んでいる。引き続き興味関心が持てるような授業展開を心掛け、高い関心・意欲を持つ生徒をさらに伸ばす指導を行う。実習では結果に至るまでの過程を各自が組み立てていけるようになり、より効率的なプログラム考える生徒も増えてきている。

令和2年度 第2学年 後期授業アンケート結果 分析表

現代文B	全体的に学習に意欲的に向かっているが、復習が十分でない生徒もあるので、復習を促す働きかけをしていきたい。生徒の実態を見ながら、難度の高めの文章を増やしていきたい。
古典B	授業の難度が低くはない中で、生徒はよく努力している。今後も、基本事項の確認を繰り返し行いながら、それらを用いることで「自分で読める」喜びを感じさせ、さらに深い理解につなげていきたい。
世界史A	概ね良好な回答を得たと考えている。とりわけグループ学習・調べ学習を取り入れた授業で、生徒の理解や意欲が高まり、かつ学習の深さも得られていて、授業改善の成果が示されている。今後も継続して取り組みたい。
世界史B	多くの生徒が意欲的に取り組み、興味関心も高まっており、授業内容・難易度・進度等についても概ね良好な回答を得た。グループ学習について理解しやすいとの回答も見られ、進度や社会情勢を考えつつ実施を検討したい。一部困難さを抱える回答も見られた。生徒の状況を勘案しつつ、授業内容の精選や教材研究に努め、歴史への理解が深まる授業に努めたい。
日本史A	主に学校図書館にて、グループで教科書の記述に対して自ら設問を設定したり、鳥取県に関する原史料の読解、発表を行ったりする活動を行った。授業の内容・進度・難易度等に対し、概ね満足という結果であった。今後も教科書の記載に沿いつつ、本県にもそれらの歴史的イベントが関わることを意識させ、資料活用等を通じて歴史への理解が深まるようにしたい。
日本史B	概ね良好な回答を得たと考えている。中でも、アクティブラーニングに関する事項は劇的に数字が変化しており、授業改善の成果が示されている。授業理解や進度に関する事項については、一部難しさを示唆する回答があり、これがいい意味での手応えのある難しい授業を求めた結果なのか、むしろ現状の適温状態がよいのか、今後検討していきたい。
地理A	全体的にみると概ね良好（肯定的）な回答ではあった。しかし、生徒の学習意欲や関心を引き出す点で改善の余地がある。前期での反省点を踏まえ、前期ではほとんどできなかった「グループ学習」・「調べ学習」を増やしていった。また、今後とも授業方法や教材なども改善していきたい。
地理B	密にならない程度でのペア学習・協同学習は、前期に比べ大幅に取り入れてきた。授業の進度や難易度の面では概ね良好（肯定的）な評価であった。しかし、生徒の興味や関心を引き出す点では、今後改善の余地がある。授業内容についての理解が深まるよう、更に生徒の知的好奇心に添えていけるよう、一層深みのある授業づくりに努めていきたい。
倫理	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容に深さを感じている生徒も多い。今後は万全の感染対策を施したうえでグループワーク等を実施し、知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決に向けて協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅱ	全体的にみると、概ね良好（肯定的）な回答ではあった。しかし、授業の理解度について、半分しか理解できていない生徒が一定数いることを厳粛に受け止め、個別の対応も含めた学習支援を考えていきたい。
数学B	全体的には概ね良好（肯定的）な回答ではあったが、授業の理解度について数Ⅱよりも数Bを苦手をしている生徒が多かった。ペア学習の充実、個別の対応等の学習支援を考えていきたい。
物理	グループワークが難しい状況であるが、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業が難しい、速いと感じている生徒もいるので、家庭学習・個別の対応を充実させたい。さらに、深く考える授業を進めていくことで生徒の思考力を高め、「難しいが面白い」と感じられるような授業にしていきたい。
化学基礎	授業内容がより高度になっているにもかかわらず前回アンケート結果と大きな変化が見られないのは、授業の難易度に応じた適切な取り組みが行われているためと考えている。苦手意識を持つ生徒を取り残さないように、教材や授業方法を工夫し、きめ細かな対応をしていくように努めたい。
化学	授業に関しては多くの生徒が集中し意欲的に取り組んでいる。化学になり難いと感じている生徒が増えつつあるので、個別のケアをすることも検討しつつ、丁寧な授業を行うことを心掛けたい。
生物	多くの生徒が、授業に集中して取り組み、難易度が高い内容についても理解を進めていることがわかる。体系的な知識を構築するために紙ベースだけでなく、実験で教科書の内容を補足・復習する等、より授業を工夫していきたい。
実践 生物基礎	概ね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用等を通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワーク等も必要に応じて取り入れたいが、現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫していきたい。
地学基礎	進度、難易度とも多くの生徒が肯定的に回答している。今後も実験や探究活動を進度に合わせて実施し、生徒の理解が進むようにしたい。また、はやぶさⅡの帰還や天文現象、気象現象など身近な話題も取り入れながら興味を高めていきたい。
コミュニケーション英語Ⅱ	1年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に活動に取り組む姿が見られる。予習・復習も習慣化され、英語運用能力の向上を図る取り組みの工夫を、コロナウイルス対策を踏まえながら検討していきたい。
英語表現Ⅱ	1年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。今後も新型コロナウイルス対策を踏まえた効果的な表現活動を更に検討し、発展的な内容に取り組んでいきたい。
保健体育	前期の後半より選択制授業を実施し、班員と協力しながら行うグループ学習が充実したものとなってきている。体力面では若干の課題はあるものの、学習に対する意欲・技能は向上しているようである。3年生の男女共修選択制授業に向けてのよい準備期間にしていきたい。

令和2年度 第3学年 後期授業アンケート結果 分析表

現代文B	読解を深める授業と、演習により学ぶ授業とを組み合わせ実施する中で、多くの生徒が主体的に取り組んできた。今後は演習に重きを置きながらも引き続き充実した内容に努めたい。
古典B	様々なジャンルの文章を通して読解の幅を広げる授業と、演習により基礎を確認する授業を組み合わせ実施してきた。今後は演習に重きを置きながら読解力が完成へと向かうよう努めたい。
世界史B	多くの生徒が意欲的に取り組み興味関心も高まったようで、授業の難易度・わかりやすさなど多くの項目で肯定的な回答を得た。グループ学習について「理解が深まる」との回答が増えており、社会情勢を考えながら実施を検討したい。生徒の状況を勘案しながら、授業内容の精選や教材研究に努め、歴史への理解が深まる授業に努めたい。
日本史B	生徒が高い意欲をもって授業に取り組んでいるため、概ね肯定的な回答が目立った。授業の進度と生徒の理解度を両立させることに尽力したが、その結果が出ていると感じる。歴史的知識や読解力をベースにして深く考察していくことができる生徒を育成していくため、今後も授業内容の研究を続けていきたい。
地理B	生徒の学習意欲が総じて高く、関心を持って授業に集中して取り組んでいる。アンケートへの回答は肯定的なものが多く、地理的事象の考察を深めることに親しむ学習を続けたい。様々な主題に関する諸資料を読み取って考察したり、地理的な諸課題を解決したりする学習に取り組み、iPadによるGISを用いた防災学習も実施した。
政治・経済	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関して、例年よりも肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容に深さを感じている生徒も多い。今後は万全の感染対策を施したうえでグループワーク等を実施し、知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決に向けて協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅲ	全体的に肯定的な回答が多い。生徒は概ね意欲的に取り組んでおり、授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。内容の理解に苦労している生徒は予習と復習の習慣が不足していると思われるため、指導を徹底し、授業の理解を高めさせたい。新型コロナウイルス感染症予防の観点からグループ学習等はほとんど行っていない。
発展数学 IAⅡBα (文系)	授業に集中して取り組む姿勢は良く、授業進度に関しても肯定的な意見が多い。生徒の成績や理解度の幅が大きく、レベルの設定が難しいが、アンケートの結果よりももう少し難易度を上げていくようにしたいと感じた。予習と復習の必要性がより感じられる授業づくりを工夫していきたい。
発展数学 IAⅡBβ (文系)	殆どの生徒が授業に集中して取り組んでおり、授業の進度についても多くの生徒が肯定的に回答している。生徒によって理解度の差が大きいため、授業全体の難易度をどこに設定するかが難しいが、もう少し難易度を上げていくようにしたい。予習と復習がいかに大切であるかを生徒たちがより実感できるような授業づくりを工夫していきたい。
発展数学 IAⅡBⅢ (理系)	肯定的な回答が多く、生徒は概ね意欲的に取り組んでいる。授業の難易度や進度も生徒の実態に合っている。ただ、内容の理解に苦労している生徒もいるため、予習と復習の指導を徹底し、授業内容の理解を高めさせたい。新型コロナウイルス感染症予防の観点からグループ学習等はほとんど行っていない。
物理	ほとんどの生徒が集中して取り組んでいると回答している。大学入試問題演習に入り、難しいと感じている生徒が増えているが、粘り強く考えることで理解が深まるような工夫をしていきたい。
化学	理系科目としての高度な内容に移り、学問の難しさと楽しさを同時に感じながら日々の授業を大切にしている様子がうかがえる。今後は理科に関する興味関心を高めていく授業展開を研究し、実践していきたい。グループ学習の時間もできるだけ設けて、実験や観察を通してお互いに刺激しあい高めあう関係を作っていくようにしたい。
実践 化学基礎	大学入試を見据えた演習を中心に授業を展開した。文系の生徒だが、関心を持って取り組んでくれた。適宜、実験を取り入れながら、生徒が主体的に考え、興味関心を引き付ける授業の工夫を今後も続けていきたい。
生物	生徒の意欲、授業の進度・レベルなどは比較的良好な意見が多かった。多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。今後はより先端の内容を含め、高度な内容を扱う授業を心掛けたい。
実践 生物基礎	概ね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワーク等も必要に応じて取り入れたいが、現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
実践 地学基礎	ほとんどの生徒が集中して取り組んでいると回答している。今後は基本的な事項から発展的な内容まで網羅しながら、様々な題材により視野を広げ思考を深めるような展開を心掛けたい。
コミュニケーション英語Ⅲ	3年間、多くの生徒が集中して授業に取り組んできた。授業進度・難易度とも適切であると肯定的に捉えている生徒の割合が高く、積極的に英語学習に取り組む姿が見られた。予習・復習も習慣化されており、高校卒業後も自主的に英語運用能力の向上を図る力を身に付けていると感じる。
英語表現Ⅱ	3年間、多くの生徒が集中して授業に取り組んできた。授業への関心・意欲・満足度の割合も高く、積極的に英語学習に取り組む姿が見られた。予習・復習も習慣化されており、高校卒業後も自主的に英語運用能力の向上を図る力を身に付けていると感じる。
保健体育	後期で男女共修選択制授業を実施した。これまでの取組みを基本に、リーダーが中心となりメンバーと協力し合いながら、活発な生徒主体の取組みをみることができた。技能向上の楽しさを味わいながら、卒業後の生涯体育につながる力を身に付けることができたと感じる。